

英文の読み方 以下の出展は複数のWebページからです。

1. 英語長文はなぜ難しい？
2. 長文読解の読み方・解き方のコツ①:
知らない単語に出会っても諦めない
 - 2.1 知らない単語に出会ったときの解き方
 - 2.2 分からない単語はあとで調べる
3. 長文読解の読み方・解き方のコツ②: 主語を意識する
4. 長文読解の読み方・解き方のコツ③: 文脈を把握する
5. 長文読解の読み方・解き方のコツ④: 接続詞が大ヒント
6. 長文読解の読み方・解き方のコツ⑤: どんどん書き込む
 - 6.1 パラグラフ毎の要点には線を引く
 - 6.2 主語や接続詞に印をつける
 - 6.3 知らない単語には印をつける
7. 長文読解の読み方・解き方のコツ⑥: 解答の根拠を明確にする
8. 長文読解の読み方・解き方のコツ⑦: 数をこなす

1.英語長文はなぜ難しい？

①: そもそも知識が足りない

難しい長文になってくるほど、修飾語を多用した長い文や、倒置法や仮定法を使った表現など、正しい文法の知識がないと意味をとらえるのが難しい文が増えてきます。

英語の長文読解が苦手な人は、まず単語帳や文法の参考書を勉強し、しっかりとした単語や文法の知識を身に付けましょう。

②: 読むスピードが遅い

英語の文を読むスピードが遅い人の特徴としては、「英語の文を後ろから返り読みし、それを一語一語日本語に訳していく」というプロセスを踏んでいることが多いです。

しかし、この読み方では英文を英語の順番通りに読んでいく人に比べて、当然読むスピードは遅くなってしまいます。音読や多読などのトレーニングを通じて、返り読みをしない癖をつけましょう。

③: 文章の全体像がつかめない

英語長文が苦手な原因の3つ目は、文章の全体像をつかむことが苦手なことです。

特に英語の場合、目の前の一文を読むことに集中してしまい、文章全体の流れや論理構成を見落としてしまう、いわば「木を見て森を見ず」の状態になってしまう人が非常に多くいます。

2.コツ①: 知らない単語に出会っても諦めない

長文を不自由なく読むには、たくさんの単語を知っておく必要があります。

長文を読む上で途中で内容を勘違いしてしまったりこんがらがってしまう理由の多くは、単語の意味の誤解によるものが多いです。

とは言え、全ての単語の意味を覚えるというのはほぼ不可能です。長文を読む上で知らない単語に出くわすことは必ずあります。それでは、知らない単語に出会った時はどうすれば良いのでしょうか？

2.コツ①: 知らない単語に出会っても諦めない

2.1 知らない単語に出会ったときの解き方

知らない単語に出会ったときに大切なことは、その単語にこだわりすぎないということです。

分からない単語に出会った時は、その単語に気をとられるのではなく、他の部分から得られる情報を使って読み進めましょう。

例えば、以下のような文章があったとします。

Ken asked me to invest in his company.

ケンはお自分の会社に投資するよう私に頼んだ。

もし「invest」(投資する)の意味が分からないとしても、そこでくじけないでください。

「invest」以外の部分から、「ケンが何か自分の会社に関すること

でお願いしたんだな」程度に理解して、次の文章に進みましょう。

その先何文か読んでいるうちに、「invest」が何を意味するのか分かってきます。

2.コツ①: 知らない単語に出会っても諦めない

2.2 分からない単語はあとで調べる

分からない単語に出会ったときは、その単語に固執せず読み進めることが大切です。分からなくても文章全体の意味を把握する上で全く問題ないような単語も多くあります。

前述の通り、長文を読む中で分からない単語があっても、気にせず読み進めることが大切です。

しかし、分からない単語をそのまま放置しては、英語力はなかなかレベルアップしません。長文読解の力をつけるために、読む際に出てきた知らない単語はあとで調べて意味を覚えるようにしましょう。

知らなかった単語リストを作って、そこに書き溜めていくのもおすすめです。

3.コツ②: 主語を意識する

日本語は主語を省略しがちな傾向がありますが、英語ははっきりと主語を書きます。

どのような文章を読むにしても「誰が」「何が」を常にはっきりとさせておくことを心がけてください。

この読み方を徹底すると、一文一文の意味を正確にとらえられるようになり、文章の全体像を見失いにくくなります。

英語の文章で主語が何かを読み取るのは、とても簡単です。基本的に主語は文章の始め、または動詞の前にあります。

しかし、複雑な文章では主語が探しにくい場合があったり、パラグラフ(段落)の途中で主語が変わっていることもあります。

主語の解釈を間違ってしまうと全体の意味が大きく変わってくることもあるので、気をつけて確実に主語を探すようにしてください。

また、英語の長文問題を解いたことがある方は経験したことがあると思いますが、長文問題には主語を把握しているかを問う問題がたくさんあります。

4.コツ③: 文脈を把握する

文脈を把握する力をつけることは、長文読解のとても良い対策になります。

文全体がどのような流れになっているのか、どのように論理展開が行われどのような結論が導き出されるのかを意識して把握することで、文章全体の全体像を見失いにくくなります。

わからない単語や文があってもそこにこだわりすぎることなく、文章全体を大局観をもって見る癖をつけましょう。

文脈を把握するには、文章全体がどのような構造なのか書き出す方法がおすすめです。

文章内にあるパラグラフ(段落)ごとに要点を書き出し、文章全体の中でそのパラグラフがどのような役割をしているのか(問いかけ、根拠、結論など)を整理するようにしましょう。

全体の流れを把握できていれば、全く理解できないパラグラフがあった際にも大体どのようなことを言いたいパラグラフなのか推測できることがあります。

5.コツ④：接続詞が大ヒント

効率よく長文読解をするコツの一つは、接続詞に注目することです。接続詞を理解することで、文と文のつながりをスムーズに理解することができ、文全体の構成を把握しやすくなります。

<逆接>

- But しかし
- However しかしながら
- Nevertheless にもかかわらず

英語の逆接は、日本語の逆接と同じで、逆接の接続詞を挟んでいる両側が相反する文章のときに使用します。

そして、これらの逆接の接続詞を理解すると、長文読解が非常に楽になります。

なぜなら、逆接の後や前に続く文章の意味がわからなくても、片方の意味さえ理解できれば、もう片方の英文の意味も大体予想ができるからです。

5.コツ④：接続詞が大ヒント

ここでは3つ逆接の接続詞の例を挙げましたが、他にもたくさんあるので、是非覚えておきましょう。

<順接>

- And
- So
- Therefore
- Then

順接は、「そして」や「だから」など、前の文章が後の文章の原因や理由になっているときに使われていることが多いです。

順接は、後ろに続く文章の意味を逆接ほどはっきりと予測することはできませんが、文章がどういう流れになるのかを知ることができるので、これらの接続詞の使われ方を知るととても重要です。

6.コツ⑤: どんどん書き込む

英語の文章を読み終わったとき、一つ一つの文章は理解できていたはずなのに、文全体の意味がよく分からないという経験をしたことはありませんか？

長い文を読んだときは特にそうなると思います。

そこでおすすめなのが、文章を読みながら書き込みを入れたり、パラグラフの要点の文章に線を引いたりしておくこと。

そのときの理解度が上がるのはもちろん、後から読み返したり必要な情報を探したりするときにもわかりやすいです。

ここでは読むときにどのような書き込みを入れるといいか、おすすめのポイントをいくつかご紹介します。

ですが、自分にわかりやすいということが一番大切なので、自分はどのような情報を書き込むことで後で更にわかりやすくなるか考えてみてください。

6.コツ⑤: どんどん書き込む

(1) パラグラフ毎の要点には線を引く

パラグラフごとに、そのパラグラフで言いたいことが必ずあります。

パラグラフの言いたいこと、すなわち要点を掴んでおくことは文全体を理解する上でとても重要なので、要点の部分には線を引いておきましょう。

要点はパラグラフの最初か最後に書いてあることが多いので、そこを集中して読むと見つけやすいです。

(2) 主語や接続詞に印をつける

主語や接続詞を意識しながら読むと、文章の流れが把握しやすくなりますし、読み違える可能性が低くなります。

また、凡ミス対策としても有効です。

6.コツ⑤: どんどん書き込む

(3)知らない単語には印をつける

分からない単語には線を引いたり、マルで囲んだり、後から見てひと目で分かるように印をつけておくことをおすすめします。

これは解き方のコツではないですが、復習時分からなかった単語の意味を調べる際とても効率がいいです。

ボキャブラリーを増やすことは、長文読解対策に直結するので、しっかりとコツコツ続けてくださいね。

7.コツ⑥：解答の根拠を明確にする

長文読解では、問題の答えは必ず文章の中に書いており、問題を解く際には必ず文章を注意深く読んで、文の中から回答の根拠を探ることが大切です。

選択式で答えを選ぶような問題は、なんとなく答えを選んでしまいがちですが、なんとなくで選んでいては、正答率は上がりません。

問題を解くときは、「ここにこう書いてあるから、私はこの答えを選ぶ！」と、自分の答えの根拠を明確にし説明できるようになることを意識すると、長文読解問題の正答率はぐんと上がります。

答えを探し出す際のコツは、長文を読む前に設問を先に読むということです。

長文を読む前からあらかじめ何を探せばいいのかを理解していれば、読みながら答えを探すことができるので効率よく読解を進めることができます。

また、答えを見つけるために何度も何度も同じ長文を繰り返し読む必要がなくなるので、無駄な時間を省き、より丁寧に読む時間を確保することができます。

8.コツ⑦：数をこなす

単語を覚え、読み方のコツを掴んだら、あとは練習あるのみです。とにかくたくさん文章を読んでください。先程お話した文脈を読む力などは、経験が物を言います。文章をたくさん読むことで読解スピードは上がります。

また、内容は異なっても、構造が似ている文章は多くあります。たくさんの文章構造に触れることは、長文読解の力を付ける上で重要です。

さらに、たくさんの文章を読むことで長文読解に慣れてくると、自分に合った文章の読み方や問題の解き方を発見することができます。世の中に様々なおすすめの方法や解き方はありますが、結局は自分がやりやすい方法が一番です。

長文読解はスポーツと同じで、毎日少しずつ練習を積むことで、毎日少しずつ上達します。一旦習得したからといってメンテナンスを怠ると、徐々に力が落ちてきて、またできなくなります。

少しずつでもいいので、毎日長文を読む習慣をつけてください。